

こすもす

市原市立中央図書館報 第145号
発行日 : 令和7年1月15日
発行者 : 市原市立中央図書館
(市原市更級5丁目1-51)
Tel 0436 (23) 4946
よくよむ
市原市立図書館
ウェブサイト
※施設のイラストデザイン© kumCiri

更級日記千年紀事業

にた どり けい

似鳥 鶏 先生 講演会開催!!

小説家の生態-僕が書きたい理由-

【日時】

2025年 **2月16日(日)**
14:00~15:30(開場13:00)

【会場】

市原市市民会館 小ホール

【定員】 491名 (全席指定・お一人様2枚まで)

【料金】 参加無料 (発券手数料含む)

【申込方法】

市民会館チケットセンター

(窓口・電話・ウェブサイト)にて受付中
(ウェブサイトの場合、セブンイレブンにて発券が必要です)



【プロフィール】

1981年千葉市生まれ。大量絶滅を生き延び新生代チバニアン期まで生存したとされる架空の首長竜を祖先に持つ大きめの人間。

主な著書にドラマ化された『育休刑事』『戦力外捜査官』や市立千葉高校らしきものが出てくる「市立高校シリーズ」、『叙述トリック短編集』など。時々ふらりといなくなる癖があり、以前はなんとなく千葉から館山までママチャリで行ったりしていたが、現在は育児のためおとなしくしている。

※このプロフィールは似鳥先生が書かれたもので一部フィクションを含みます。



【チケットのお申込み】 ウェブサイトURL→



市原市市民会館チケットセンター

TEL 0570-043-043 (窓口・電話ともに9時~17時)



中央図書館リニューアルオープン

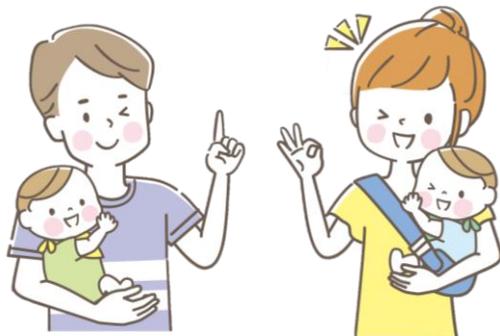


① 児童室の利用時間の延長・新たに個室型授乳室「mamaro」設置

水曜日と金曜日に児童室も19時まで利用時間を延長し、ゆっくりと本を選んでいただけるようになりました。また、児童室内に完全個室型のベビーケアルーム「mamaro」を設置しました。入口を入って左の柱の奥にあります。授乳、おむつ替え、離乳食等にご利用ください。パパもママも家族みんなが使えます。



New



※使われる際は、児童室カウンターへお声かけください。ご利用方法等の説明をさせていただきます。



② 視聴覚コーナーが1階に移動しました

リニューアルオープンに伴い、2階視聴覚コーナーの視聴覚資料及び視聴するブースを1階第1フロアに移動し、閲覧できる資料を全て1階に集約しました。DVDは中央カウンターの近くのセレクトブックコーナーC及び返却された本の裏の棚、CDは青少年と参考図書間の通路にあります。

第1フロアに移動することで、ワンストップで図書と一緒に貸出ができるようになりました。貸出等の際は中央カウンターに空ケースをお持ちください。



一部のDVDとCDは2階視聴覚資料室(閉架)にあります。視聴覚資料や視聴ブース等に関するお問い合わせは、中央カウンターにてお尋ね下さい。

※ビデオテープ・カセットテープの利用は2024年6月2日をもって終了しました。





③ 2階にグループ学習ルームと飲食コーナーを設置



グループ学習ルーム



飲食コーナー



館内の2階に「グループ学習ルーム」と「飲食コーナー」を設置しました。「グループ学習ルーム」では、会話をしながら複数人での学習等に利用することができます。Wi-Fiも利用できますので、パソコンやタブレット持ち込みでの学習も可能です。ご利用の際は中央カウンターにてお申込み下さい。



④ 照明のLED化とトイレ設備の充実

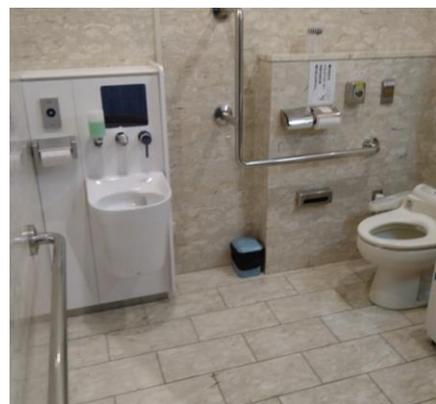
館内照明（正面入口）



エントランスと第1フロアの照明器具をLED電灯に交換し、より館内が明るくなりました。

トイレをすべて洋式化し、ウォシュレットを設置しました。

また、1階多目的トイレ内にオストメイト対応トイレを、2階多目的トイレ内にベビーチェアを設置し、より快適に施設をご利用いただけるようになりました。



1階多目的トイレ

- オストメイトとは
様々な病気や事故などにより、お腹に排泄のための『ストーマ(人工肛門・人工膀胱)』を造設した人を「オストメイト」といいます。(厚生労働省ホームページより)



図書館からのお知らせ



更級日記コーナー

市制60周年記念 第4回更級日記千年紀文学賞授賞式を開催しました



令和6年12月7日(土)に受賞者の方にご出席いただき、授賞式を開催しました。

授賞式では一般の部・小中学生の部の受賞者のみなさんが晴れやかな表情でステージに立ち、受賞の感想などをお話くださいました。会場からは祝福の拍手が送られ、華やかな雰囲気になっていました。

受賞作品集は中央図書館で配布しています。どうぞお手にとって、受賞者の方々の文学作品に触れてください。

◆第5回更級日記千年紀文学賞作品募集!◆

募集期間：令和7年2月1日(土)から2月28日(金)(消印有効)

詳細は右のQRコードから募集要項をご参照ください。



※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

第11回上総いちはら国府祭り出展!

10月の上総いちはら国府祭りに、中央図書館も子ども向けブースを出展しました! 絵本や図書館についてのおみくじクイズに正解した子にはささやかなプレゼントも! みなさんとでも楽しそうにクイズに挑戦していて、当日は予想していた人数を遥かに上回り300人近くの子もたちが来てくれました。職員はてんてこまいでしたが、休館中で子どもたちと触れ合える機会が減っていた中、とても楽しい時間でした。



本のある毎日、 図書館のある暮らし。vol.23

📺 映画も、ドラマも、原作も 📺

人気小説家の作品が映画やドラマの原作となり、原作本がとても話題となることが、以前は多くありましたが、最近では、人気のあるマンガが映画化やドラマ化されることが多いように思います。

とは言え、最近も魅力的なドラマとなり、話題になる小説もあります。その一つはNHKで放送されたドラマ「宙わたる教室(原作:文芸春秋刊)」。作者は伊与原新さん。昨年の第70回青少年読書感想文全国コンクール課題図書(高等学校の部)に採用されていた小説です。原作の魅力がドラマ化でさらにUPし、話題に火がついたのではないかと思います。もう一つは、またまたNHKのドラマとなりますが「団地のふたり(原作:双葉社刊)」。作者は藤野千夜さん。団地に住む50代のふたりの温かくユーモアたっぷりの友情の物語で、ドラマを見た方も原作を読んだ方もほのぼのとした気持ちになり、満足度も高かったようです。

映画では、現在映画館で上映中の「私にふさわしいホテル(原作:新潮文庫刊)」。作者は柚木麻子さん。強い信念のもと、あの手この手を使って小説家として大成を目指す物語。『更級日記千年紀文学賞』を実施する当館としては、小説に描かれた文壇の世界などはちょっと・・・とも思いますが、小説家になるという主人公の強い思いに共感し、小説やエッセイを書くきっかけとなり、当館の文学賞へ応募につながると嬉しいです。

本との出会いは、「好きな俳優が出演したドラマや映画の原作を読む。」「好きなドラマや映画の原作を読む。」「好きな作家の作品が話題のドラマや映画になり、もう一度読みたくなる。」などなどあちこちにあります。もちろんこれからも、小説も映画もドラマも様々な作品が生まれることと思います。今年も、皆さまがそれぞれの“好き”をきっかけに、素敵な本にたくさん出合うことができる年となること間違いなしです!